

なかつがわ



平成30年 中津川市議会 9月定例会

今年も開催します 市民と議会の対話集会



昨年の蛭川会場の様子

開催日	地区	会場	担当班
11月5日(月) 午後7時～	中津地区 (東・南・西)	健康福祉会館 多目的ホール	1班
	落合地区	神坂公民館 ホール	2班
	神坂地区		
	馬籠地区	坂本地区	坂本公民館 ホール
11月6日(火) 午後7時～	蛭川地区	蛭川公民館 ホール	1班
	加子母地区	加子母公民館ホール	2班
	付知地区	福岡公民館大集会室	3班
	福岡地区		
11月7日(水) 午後7時～	阿木地区	阿木公民館 研修室	1班
	苗木地区	苗木公民館 ホール	2班
	山口地区	山口公民館 ホール	3班
	坂下地区 川上地区		

担当議員

1班	佐藤光司 鷹見憲三 鈴木清貴 櫛松直子 吉村浩平 牛田敬一 柘植貴敏
2班	吉村久資 鈴木雅彦 三浦八郎 岡崎隆彦 木下律子 島崎保人 水野賢一
3班	粥川茂和 大堀寿延 田口文数 勝 彰 森 益基 吉村孝志

※11/7(水)のみ次の3議員を入替。
田口議員1班・牛田議員2班・島崎議員3班とします。

目次

- 議案.....②
- 予算決算委員会報告.....⑥
- 平成29年度決算認定.....⑦
- 常任委員会報告.....⑩
- 特別委員会報告.....⑪
- 一般質問.....⑫
- 中学校生徒会サミット開催.....⑬
- 議会開催状況/編集後記.....⑭

トピックス

=全国各地で災害が発生=

犠牲者の方々に哀悼の意を捧げるとともに、お見舞いを申し上げます。
一日も早い復興・復旧を祈念いたします。

- 中津川市の災害復旧予算
 - ・6月25日～7月8日の豪雨：110,400千円
 - ・6月18日の大阪北部地震発生に伴うブロック塀等撤去費：25,791千円
 - ・台風21号(9月4日)概算被害額：191,249千円

9月定例会は、本会議初日に大阪北部地震発生に伴い、教育施設のブロック塀等の撤去の専決予算を承認。6月25日～7月8日の豪雨災害復旧費を中心とした補正予算、中津川市固定資産評価審査委員の選任と人権擁護委員候補者の推薦の人事案件11件を原案可決し、条例8件ほか16件と補正予算4件を所管の委員会に付託しました。26日には付託した28件と追加議案の台風21号による災害復旧補正予算他2件、議員提案の意見書1件を原案可決しました。また、平成29年度決算11件も提出され、会期を10月5日まで延期して予算決算委員会に付託、10月5日の最終日に全て原案可決となり閉会しました。

専決処分の承認

市内教育施設の危険なブロック塀等を早急に撤去するための経費9百26万7千円を計上し、議会の議決を得る時間の余裕がなく専決処分したものです。

中津川市固定資産評価審査委員委員の選任

(全会一致)

曾我能昌さんの任期が平成30年9月30日に任期満了となりますので、引き続き選任するものです。



人権擁護委員候補者の推薦

(全会一致)

人権擁護委員10名の任期が平成30年12月31日に満了となりますので、引き続き上田さよさん、安彦美智子



早川久雄さん



佐々木保さん



早川智子さん



渡邊和子さん



上田さよさん

さん、渡邊和子さん、宮下修治さん、早川智子さん、梅田時江さん、佐々木保さんを推薦し、新たに林和子さん、早川久雄さん、国枝泰穂さんを推薦するものです。



安彦美智子さん



宮下修治さん



梅田時江さん



林和子さん



国枝泰穂さん

中津川市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正

(全会一致)

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、改正するものです。内容は次のとおりです。

◇選挙運動用自動車の使用に係る経費の限度額（使用1日当たり）

区分	改定前単価	改定単価	差額
一般運送契約	15,300円	15,800円	+500円
自動車借入契約	7,350円	7,560円	+210円
以外の契約			

◇選挙運動用ポスターの作成に係る経費の限度額（ポスター1枚当たり）

改定前単価	改定単価	差額
(510円48銭×ポスター掲示場数+301,875円)÷ポスター掲示場数	(525円6銭×ポスター掲示場数+3,050円)÷ポスター掲示場数	+14円58銭+8,625円

中津川市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例及び中津川市企業立地促進条例の一部改正

(全会一致)

(2)加熱式たばこの課税方式を紙巻きたばこに換算し税率を乗じて課税する方式に見直し、新築住宅等に係る固定資産税の減額措置の適用期限を平成32年3月31日まで延長します。

①中津川市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の改正
・認定期間を平成32年3月31日まで延長
・東京23区から地方へ本社機能を移転する場合、固定資産税を3年間免除する優遇措置に改正

②中津川市企業立地促進条例の改正
本社機能移転に係る事業者の指定要件を中小企業は5人以上を2人以上に、中小企業以外は10人以上を5人以上に緩和

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に係る中津川市固定資産税の特例に関する条例の制定

(全会一致)

地域未来投資促進法に基づき、事業者において地域の特性を生かし、高い

中津川市分担金条例の一部改正

(全会一致)

付加価値を創出する事業計画を策定し、実施した事業について、固定資産税を3年間免除します。

県営土地改良事業(機構関連事業)の施行地域農用地において、一定期間経過前に、農地を目的の外用途に供した場合や農地中間管理権の解除をした場合に、当該事業により市が負担する費用について、原因者から特別徴収金として徴収することを規定するため、改正するものです。

中津川市消防団条例の一部改正

(全会一致)

機能別団員の定員を220人以内から250人以内に変更するため、改正するものです。

財産の取得

(全会一致)

①苗木分団第1部の消防ポンプ自動車1台を更新するものです。
・契約金額 2千8万8千円
・契約の相手方 株式会社ウスイ消防

②蛭川分署の高規格救急自動車1台を更新するものです。

財産の取得

(全会一致)

・契約金額 3千百86万円
・契約の相手方 岐阜日産自動車株式会社

坂本幼稚園、坂本保育園を移転統合し、新たに坂本こども園を建設するための用地を取得するものです。
・財産の種類・土地
・財産の所在地・茄子川字長連寺地内
・契約金額・5千175万450円

損害賠償の額の決定

(全会一致)

がん治療中の糖尿病の患者に対し、ステロイド製剤を使用した際、血糖管理をしていなかったことが死亡につながったとして病院側の過失を認め、損害賠償するものです。
・損害賠償額 1千5百50万円

北部辺地に係る総合整備計画の変更

(全会一致)

①計画区域 中津川市北部地域(加子母)
②計画期間 平成27年度から平成31年度まで
③変更内容(新規) 事業名 林道長洞線整備事業

中津川市の議会の議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定

(全会一致)

有権者の選挙に関する環境の向上のため、公職選挙法に基づき議員及び長の選挙における候補者の氏名、政見等を掲載した選挙公報の発行に、必要な事項を定めるため、制定するものです。

中津川市職員の給与に関する条例の一部改正

(全会一致)

労働基準法に基づき、通常勤務として夜間勤務を行う管理職を夜間勤務手当の支給対象とするため、改正するものです。

中津川市税条例等の一部改正

(全会一致)

地方税法等の一部改正に伴い、次のとおり改正するものです。
①個人市民税の基礎控除等の見直し
(1)基礎控除を所得2千5百万円以下の者のみに適用し、最高43万円から15万円まで段階的に控除障がい者、未成年者、寡婦又は寡夫の非課税限度額を百35万円以下との見直し。
②たばこの税率等の見直し
(1)紙巻たばこの税率を3年にわたる段階的に引き上げます。

附帯決議を可決

文教民生委員会

・事業内容 林道整備工事
延長…500m
幅員…3.0m
・事業費 1千2百50万円

9月13日に開催された文教民生委員会で左記の附帯決議案が全会一致で可決されました。

議第82号 損害賠償の額の決定に関する附帯決議

市民病院において再発防止策を講じているものの、医療過誤が発生していることは極めて遺憾である。また、今回の医療過誤は細心の注意を払うことで未然に防ぐことができたものと考えられる。今後とも医療過誤の防止に一層努め、地域の中核病院として市民の安心・安全な医療の提供に努められたい。

平成30年9月13日

文教民生委員会

公立小中学校等における空調設備の設置促進を求める意見書（議員提案）

（全会一致）

近年、地球温暖化の影響により、夏季の気温が非常に高くなっています。特に、今年は内陸部の気温が40℃を超える地域や高温となる日数が増加した状況で、本市においても35℃を超える猛暑日が連続し、保育園や学校などの保育室や教室においてはこれを更に上回る温度となりました。

文部科学省の定める学校環境衛生基準において、教室内の温度は28℃以下が望ましいとされていますが、それをはるかに超える室温が継続していることが現状であり、来年以降の夏もこの状況が続くと予想されます。

また、猛暑の中では、園児・児童・生徒の体調の急変や学習意欲・集中力の低下など、保育環境や教育環境への悪影響が見られるため、早急な環境改善が必要です。

しかし、本市では公立保育園の遊戯室や一部の未満児保育室に空調設備が設置されているものの、その他の保育室及び公立の幼稚園、小中学校、高校の普通教室等には空調設備が設置されていません。

設置するには多額の費用が必要ですが、地方の厳しい財政状況の中、短年度でその設備を設置することは厳しく、設置が進まないのが現状です。

よって、中津川市議会は、国会及び政府に対し、将来を担う園児・児童・生徒の保育環境及び教育環境を改善するため、公立保育園の保育室への空調設備の設置に対する助成制度を新設するとともに、公立幼稚園、小中学校、高校の普通教室等への空調設備の設置に対する助成制度を大幅に拡充するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成30年9月26日

中津川市議会

賛否の分かれた議案の議決結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ										市民クラブ		新政		公明		ネ		無		共	議決結果
		鷹見憲二	大堀寿延	勝影	岡崎隆彦	吉村浩平	柘植貴敏	島崎保人	水野賢一	森益基	吉村孝志	吉村久資	榎松直子	生田敬一	鈴木雅彦	三浦八郎	鈴木清貴	田口文数	佐藤光司	粥川茂和	木下律子		
平成30年度中津川市一般会計補正予算(第5号)		賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	可決

※新政：新政会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無党派、共：日本共産党



指定管理者の指定

（全会一致）

次の18施設の管理を指定管理者に行わせるため、指定するものです。

施設名	指定先
中津川市付知グラウンド	特定非営利活動法人 つけちスポーツクラブ
付知B&G海洋センター	
中津川市清和寮	社会福祉法人 五常会
中津川市デイサービスセンターゆうわ苑	
中津川市デイサービスセンターゆうらく苑	社会福祉法人 萱垣会
中津川市グループホームまごころ	
中津川市デイサービスセンターひだまり苑*	医療法人 みらい
中津川市坂下福祉センター	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会
中津川市坂下デイサービスセンター	
中津川市加子母第二デイサービスセンター	
中津川市付知福祉センター	
中津川市蛭川福祉センター*	
中津川市蛭川デイサービスセンター*	
中津川市蛭川ショートステイ事業所*	
中津川市付知峡倉屋温泉施設	
中津川市付知峡倉屋温泉スタンド	一般財団法人 付知町振興公社
裏木曾花街道センター	
花街道付知楽市楽座	

・指定期間：平成31年4月1日～平成36年3月31日
（ただし、※印の施設は、平成31年4月1日～平成34年3月31日）



中津川市清和寮



デイサービスセンター ゆうわ苑



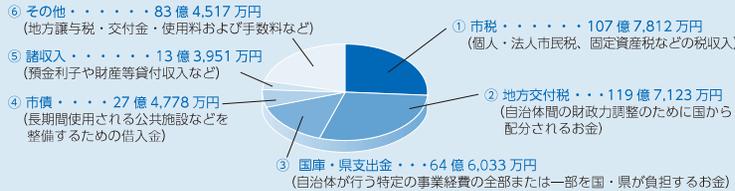
付知B&G海洋センター



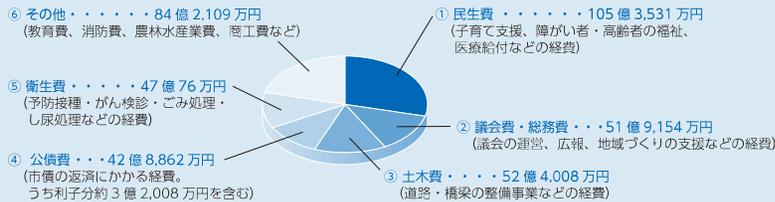
デイサービスセンター ひだまり苑

==== 平成 29 年度決算を認定 =====

一般会計歳入 416 億 4,214 万円



一般会計歳出 383 億 7,740 万円



健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を公表するもので、中津川市の財政は健全かどうかを早期健全化基準と比較して判断します。また、特別会計・企業会計は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。

健全化判断比率 (単位：%)

年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成 29 年度	発生していません	発生していません	10.5	12.9
早期健全化基準	12.15	17.15	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし
平成 28 年度	発生していません	発生していません	9.9	22.7
平成 27 年度	発生していません	発生していません	9.4	33.5

※平成29年度一般会計決算における各比率は、全て早期健全化基準を下回っています。実質公債費比率は、10.5%と昨年度の比率9.9%と比較して0.6ポイント上がりました。悪化の要因は、合併特別期間終了に伴う普通交付税の段階的縮減により、比率の分母となる標準財政規模が減少したことなどです。

各会計の決算額 (単位：千円)

会計名	29年度決算額	28年度決算額	増減額
一般会計	38,377,397	38,025,953	351,444
国民健康保険事業会計(直診)	269,046	272,305	△3,259
国民健康保険事業会計(事業勘定)	8,110,535	8,476,708	△366,173
駅前駐車場事業会計	15,780	15,711	69
下水道事業会計	1,777,008	2,187,360	△410,352
簡易水道事業会計※	—	740,303	—(皆減)
農業集落排水事業会計	696,382	668,597	27,785
特定環境保全公共下水道事業会計	1,446,934	1,456,480	△9,546
介護保険事業会計	7,681,189	7,565,057	116,132
個別排水処理事業会計	8,540	7,948	592
後期高齢者医療事業会計	1,006,247	959,387	46,860
水道事業会計	3,246,599	2,587,750	658,849
病院事業会計	12,094,757	11,808,627	286,130
計	74,730,414	74,772,186	△41,772

※特別会計・企業会計とも資金不足額は生じていないため、資金不足比率はなく、健全といえます。

※簡易水道事業会計は、平成29年度から水道事業会計に統合されました。

予算決算委員会報告 (補正予算)

(8月30日・9月19日・9月26日)

平成30年度 9月補正予算の概要

(賛成多数)

下記の7つの編成方針により、予算が計上されました。

- ① 国・県補助金等を活用する事業
- ② 寄附金を財源とする事業
- ③ コンクリートブロック塀等の撤去等が必要な事業
- ④ 緊急対応が必要な事業
- ⑤ 豪雨等により被災した施設等を復旧する事業
- ⑥ 学校等へエアコンを設置する事業
- ⑦ 過年度精算

補正を行う会計

一般会計	583,366 千円
特別会計	国民健康保険事業会計 364,163 千円
	介護保険事業会計 251,471 千円
企業会計	病院事業会計 15,500 千円
合計	486,174 千円

① 国・県補助金等を活用する事業 26,395 千円

- 市民協働推進事業 (中心市街地に域学連携の拠点整備)
- 生活安全対策事業 (空き家解体補助)
- 林業振興事業 (森林経営管理意向調査)
- 観光推進事業 (統一歴史解説看板) ほか

④ 緊急対応が必要な事業 △241,020 千円

- 資源化対策事業 (旧資源センター)
- 企業誘致推進事業 (西部テクノパーク)
- 文化団体育成事業 (加子母歌舞伎保存会)
- 道路・橋りょう新設改良事業
- 病院事業会計 (賠償金)
- 国民健康保険事業会計 (減額補正) ほか

② 寄附金を財源とする事業 950 千円

- ワイ・ケー・ピー工業(株)様 元気づけづくり基金へ積み立て
- 昭和33・34 戊戌年還暦の会様 坂下小学校へデジタルカメラなど
- 坂下中学校へ天吊プロジェクター

⑤ 豪雨等により被災した施設等を復旧する事業 266,996 千円

- 6月・7月の豪雨等により被災した施設を復旧する事業 110,400 千円
- 台風21号の影響により被災した施設等を復旧する事業 156,596 千円

③ コンクリートブロック塀等の撤去等が必要な事業 19,446 千円

- 市内施設の危険なブロック塀撤去 駅前看板 落合本陣 加子母・坂下1号道場 坂下プール 茶屋坂高札場
- 個人・事業所の公衆用道路に面したブロック塀撤去の補助 補助率2/3 (上限30万円)

⑥ 学校等へエアコンを設置する事業 33,208 千円

- 児童・生徒の安全、健康を守るためエアコンを設置するための調査設計 小学校185室 中学校90室 阿木高校7室 保育園42室 幼稚園15室

⑦ 過年度精算 380,199 千円

- 前年度実績確定による国・県支出金 過年度償還金 一般会計 国民健康保険事業会計 介護保険事業会計

平成 29 年度 決算認定における所見

【教育委員会】

・教師の働き方

当市は指導助手や特別支援アシスタントを配属し、児童・生徒の勉学向上のために努力されています。それでもなお、教師の仕事量が多く、さらなる教師の働き方の改善を進めていただきたい。

【基盤整備部】

・施設の維持管理等

道路や橋りょうの老朽化が進んでおり、維持修繕の確実な実行により、市民の皆様が安全・安心に暮らせるよう努力していただきたい。また、国土調査事業の進捗が遅れており、早期の完了を目指していただきたい。

【農林部】

・担い手不足の解消

担い手不足は深刻な問題ではありますが、農業や林業の大切さや楽しさを感じられる PR など参入しやすい取組みが必要です。鳥獣害防止対策も大切だと思いますが、被害を減らす施策の取組みにも力を入れていただきたい。

【病院事業部】

・市民病院

平成 28 年度の黒字から大きな経常損失に転じました。病院再編による効率的な事業体制を早期に確立する必要があります。

・坂下病院、坂下老人保健施設

坂下老人保健施設が坂下病院内に移転したことから、坂下病院の老人施設の一体化による経営経費の効率化を図る必要があります。

【水道部】

・埋設管の耐老化

上下水道管及び施設等の老朽化が進んでいる現状と耐老化等に向けた対策及び、整備率、水洗化率を向上させ、計画的かつ確実に進め、市民の安心・安全な取組みに努力していただきたい。



賛否が分かれた平成 29 年度決算の認定結果

議案	会派 氏名	中津川市民クラブ										市民クラブ		新政	公明	ネ	無	共	議決結果			
		藤見 憲二	大堀 素延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島岡 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	吉村 久貴	榎松 直子	牛田 敬一	鈴木 雅彦	三浦 八郎	鈴木 清貴	田中 文敷		佐藤 光司	新川 茂和	木下 律子
平成 29 年度中津川市一般会計決算の認定	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	認定
平成 29 年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	認定
平成 29 年度中津川市介護保険事業会計決算の認定	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	認定
平成 29 年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	認定
平成 29 年度中津川市病院事業会計決算の認定	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	認定

※ 新政：新国会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット 21、無：無党派、共：日本共産党

※ 榎松議員は、監査委員のため退席しました。

平成 29 年度 決算認定における所見

【市長公室】

・ふるさと応援隊事業

ふるさと応援隊員からの助言等から施策に反映された経緯がみられ、着実な成果をあげています。引き続き隊員の加入促進に取り組み、当市の知名度を更に向上されるように望みます。

【総務部】

・職員の人材育成

「市民に信頼され協働して取り組み政策を実行する職員」を目指し各種の研修を行い、1,026 名の参加があったことは頼もしい限りです。新規に女性活躍推進研修に取り組みしたことにより、今後 女性職員の活躍が期待されます。

【財務部】

・マスタープラン推進

平成 29 年度末での実績(施設の再編 31、削減効果額 152,700 千円。土地 27 件 56,911 m²、売却額 120,210 千円)は、目標を下回っており、更なるプランの推進に期待します。

【定住推進部】

・集落支援

空き家対策、移住定住対策につながる集落支援員の活動を、より強力に推し進め、地域コミュニティの維持活性化を更に推進していただきたい。

【健康福祉部】

・地域医療対策事業

坂下病院の大幅な病床削減により、市民病院の役割強化、在宅医療、在宅看取りが求められます。医師確保への一層の努力、地域包括ケアシステムの充実、医師会との連携など努力され、市民の命と健康を守る事業を進めていただきたい。

【商工観光部】

・中心市街地

中心市街地の事業を進めるに当たり、多くの市民にご意見などを聞き、主役は行政でなく市民の方々である事を訴えながらより良いまちづくりを進めていただきたい。

【政策推進部】

・総合政策事務事業

中津川市の、まち、ひと、しごと総合戦略の基本目標及び KPI* を達成したことは評価されます。平成 31 年度からスタートする中期事業実施計画をしっかりと策定されるように求めます。

※ KPI: Key Performance Indicator
組織や事業の目標の達成度合いを計る定量的指標(重要業績評価指標)

【生活環境部】

・資源化対策

資源物のリサイクルについて、市民への啓発と推進を更に図る必要があります。

・環境管理温暖化対策

環境教育の継続と特定外来植物の駆除に向けた啓発、住宅用太陽光発電やベレットストーブ設置による温暖化対策の更なる啓発・推進を図る必要があります。

【文化スポーツ部】

・公民館の指定管理者制度

地域のまちづくりの拠点としての地域住民自らの手による運営について、福岡公民館をしっかりと検証し、付加公民館、苗木公民館を含めた公民館運営につなげていく必要があります。

・文化財保護

芝居小屋の保全管理、魅力を生かした地域づくり、地歌舞伎などの伝統芸能の保全や推進、郷土の偉人の顕彰、文化財や史跡の保存等中津川市の文化・歴史・芸能を更に磨く努力を求めます。

【リニア都市整備部】

・リニア関連

リニア開通までの期間も少なくなっています。大きな予算が必要な事業ですが、地元市民の方々の声を良く聞き、話し合い、計画を確実に実行していく努力を引き続き行っていただきたい。

【消防本部】

・消防施設設備整備計画

経年劣化の救急車及び消防車両の更新は消防力を堅持する為の大切な事業であり、整備計画により確実に進めていただきたい。

常任委員会報告

◆総務企画委員会

7月18日
〔所管事務調査〕(財務部)

○市有財産(施設・土地)運用管理マスタープランの取組みの成果と課題・対策について

マスタープランの取組みの成果と課題・対策について調査しました。

現状

施設は、今後1・1・8施設の再編を着実に実行する必要があります。平成32年度までの目標に向け直しを行い、実効性のある市有財産マスタープラン改訂版の作成が必要です。土地は、318件、約4億3千万円余が売却できました。

課題

施設の再編方針の見直しは、外部有識者を含めた評価委員会を設置します。土地は、需要の低い周辺部の遊休市有地の売却が進んでいません。専門知識を持つ不動産業者と連携し売却数の向上を図る必要があります。

委員会のまとめ

地域や関係団体のご理解を頂いて着実に推進していくべき問題であると再確認しました。

◆産業建設委員会

7月12日
〔所管事務調査〕(水道部)

○下水道事業の現状と課題について

下水道料金の定額制廃止による効果、下水道整備の進行状況、これらの現状と問題点について調査しました。

現状・課題

①平成30年4月より下水道料金定額制の廃止により、徴収分の増収と経費回収率が大きく伸びる見込みですが、まだ基準外繰入金額が3億5千万円と多額です。
②下水道整備は中津川処理区79.3%、坂本処理区41.5%と整備率がまだ低い状況です。
管路整備は平成37年度完了、工事費は約21億を予定しています。

今後の対応

整備率・水洗化率・接続率を上げるために地域説明会、個人訪問、チラシを配布するなどの取り組みを進めていきます。

委員会のまとめ

下水道料金定額制廃止により料金体系が統一されたことは大変良いことだと考えますが、基準外繰入が多い。水洗化率を上げる努力による健全経営に努めていただきます。

◆文教民生委員会

8月6日
〔所管事務調査〕(教育委員会)

○学童保育の現状と課題について

学童保育所運営の現状と課題及び今後の取組みについて調査しました。

現状・課題

・学童保育所の運営は、市が父母会に委託し、市の委託料と保護者からの保育料で運営
・児童数は減少、学童の登録児童数は増加
・学童保育に必要な広さを有する施設の確保
・資格要件を満たした指導員の確保

課題解決に向け取り組んだこと

・学童保育所2カ所の新設
・委託料の算定基準を国の補助基準と同額とすることで委託料の大幅な増額
・指導員の処遇改善を目的とした事業の実施

今後の対応

・児童の安全に関する事項のマニュアル化
・要室調査による計画的な施設整備の実施

特別委員会報告

リニア中央新幹線対策特別委員会

8月8日

最近の動向について、所管部より報告を受けました。

1、平成29年10月17日に岐阜県知事の認可を受け、同日、当市では初となる土地区画整理事業の事業計画を決定した「リニア岐阜県周辺土地区画整理事業」のスケジュールは、左表のとおりです。

年度	市の事業実施内容	地元調整等	備考
平成29年度	・地区界測量 ・路線測量		・都市計画決定 (H29.4.11) ・事業認可 (H29.10.17)
平成30年度	・路線測量 ・地質調査 ・詳細設計	・換地勉強会 ・土地利用等意向面談	・第1回土地区画整理審議会 (H30.6.27)
平成31年度	・詳細設計 ・換地設計	・換地勉強会 ・仮換地意向面談	
平成32年度	・土地評価 ・換地設計	・仮換地個別説明会	・仮換地指定
平成33年度～ 平成36年度	・建築物の移転等 ・工事		
平成39年度～ 平成40年度	・換地処分 ・登記 ・清算		

※上記は現時点の予定であり、今後の地権者合意や関係機関協議等の状況により変更となる場合があります。

委員会のまとめ

学童保育所の運営にあたり、父母会に大きな負担となっている部分に対する支援の在り方を検討するとともに、指導員確保を更に進めるため、引き続き処遇改善に取り組み必要があります。



東学童第1保育所



苗木学童保育所 さくら組

2、濃飛横断自動車道は、当初、盛り土での計画でしたが、高架式に変更します。



高架イメージ

3、リニア景観を活用した公園・道の駅整備による地域活性化のための検討調査については、今後JR東海の計画具体化するなかで、調整・協議が必要であります。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は10人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



自然災害について

牛田 敬一

水害、地震、雪害、竜巻等といった人的、家屋、産業の被害を伴う自然災害が発生しています。防災行政無線は、聞える聞えないと言う議論がありますが、実際に豪雨の経験、平成30年7月豪雨の状況から、市の防災行政無線の在り方(考え方)を伺います。

答

平成30年7月豪雨のような大雨の時には、雨や風の音で防災行政無線は聞こえにくくなり、防災行政無線だけでは、確実な情報伝達が行えないため、それを補完する形で、複数の方法で伝達することが必要だと考えます。防災行政無線以外に市民安全情報ネットワーク、メールの配信、市ホームページでの緊急情報、ヤブー災害ブログ、テレビのデータ放送、携帯電話エリアメールなど複数の手段で防災情報を配信しています。

(生活環境部長)



中心市街地の活性化と青柳記念館の再建について

鈴木 雅彦

中津川市出身の著名人、誇られる人は、多々おられますが、前田青柳画伯は、その代表的な方であり、その方から得られる中津川市の宝は計り知れないのではないのでしょうか。中心市街地の活性化が叫ばれ、リニアを活用した戦略を考えたとき、青柳記念館の再建は、欠かせないものと思いますがいかがですか。

答

他にはない貴重な文化資源として、全国に向けて中津川市のPRを発信する中で、非常に重要であり大切な施設と考えています。前田青柳画伯を顕彰し、次世代に伝えていく上でも、中心市街地、特に青柳画伯の生誕地付近に前田青柳記念館を含めた美術館建設の必要性を強く感じています。

(文化スポーツ部長)



保険者努力支援制度について

田口 文数

問 国保保険者の医療費適正化への取組みなど、保険者機能の強化を促す観点から、取組みに基づき実績や取組みを点数化し、国から交付金を交付され、財政基盤を強化する制度です。

①指標でも配点がある特定健診受診率ですが今後の目標数を、お伺いします。
②糖尿病等の重症化予防の取組みが重要ですが、糖尿病等の患者数、医療費の近年の現状をお伺いします。

答

①特定健診受診率の目標は、平成30年度が40%、31年度、34年度まで毎年5%ずつ向上させ、60%を最終目標としています。
②国民健康保険の被保険者の状況でみると、糖尿病の平成27年度の患者数は2千407人、医療費は31億5千715万円、28年度の患者は2千441人、医療費は31億3千111万円、29年度の患者数は2千392人、医療費は31億3千807万円です。ここ3年は、ほぼ横ばいとなっています。

(健康福祉部長)



利用しやすい文化会館について

吉村 浩平

問 他市からの観客が見込まれる公演についても市民にもとより、せっかく来ていただいた他市からの観客にも「おもてなし」という観点からしても申し訳ない気持ちです。

①利用者の観点での椅子の問題についてはどのように把握されていますか。
②市民に安心してご利用いただくためにも、今回の工事に合わせてトイレの洋式化をぜひ進めたいと思います。お考えをお聞かせください。

答

①アンケート調査を通じて、利用者の方がゆとりのある椅子への改修を望んでいると認識していますが、椅子の幅を広げることで座席数が減ってしまうという問題もありますので、利用者の意見を聞きながら進めてまいります。
②トイレの洋式化につきましても、合わせて進めてまいります。

(文化スポーツ部長)



人口減少対策について

粥川 茂和

問 人口減少が進むと、予算規模の縮小、職員の減員は避けられません。当然従来型の行政サービスの維持は困難となり、効率化やコンパクト化が求められます。効率化や縮小が求められますが、中山間地域の当市は独特の地形や文化があり、難しい問題です。

そこで、将来のまちのあり様を早い段階で定め、市民に実感してもらうことが重要と考えますが、所見を伺います。

答

ご指摘のとおり、人口減少が進めば、従来型の行政サービスの維持は困難となり、効率化やコンパクト化が求められます。効率化やコンパクト化を進めるためには、市民の理解を得ることも、また、まちづくり協議会などの地域づくり関係団体との役割分担が必要になると考えます。国においても、研究会を設置して検討が進められており、まずは、その情報収集や市民への情報提供に努め、一緒に考えてまいります。

(政策推進部長)



観光客への情報提供について

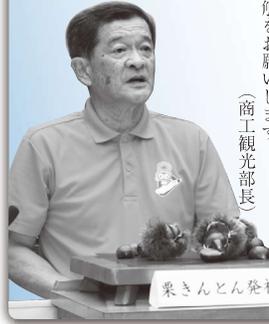
吉村 久資

歴史や景勝地に恵まれた本市には多くの観光客が訪れます。情報を提供する方法はパンフレットやチラシ、情報誌などの紙を媒体としたものから、インターネットやICTの活用を主流にする必要が有ります。市内施設の回遊や多言語による観光スポットの紹介は、現地における「おもてなし」と考えます。スマホを使った観光アプリの導入についての見解を伺います。

答

訪問客のニーズや目的、更には費用対効果も考慮し、本市ならではの情報発信の方法を考えています。最近では8月末にInstagramの開設や、Googleマップを活用した施設情報、写真掲載などの情報発信を展開しています。身近なメディアを活用した案内は、おもてなしに直結する手段と考えますが、全国各地で既に提供されているご当地アプリについて、運用状況や効果、課題などを研究する必要がありますので、ご理解をお願いします。

(商工観光部長)



認知症対策について

柘植 貴敏

①認知症による「徘徊」「はいかい」という用語が不適当との声に対して、本市はどのような用語で表現していますか。
②高齢者ITケアネットワーク事業をグレイドアップし、認知症を患った方を皆で見守るやさしい地域づくりの事業を積極的に採用できないでしょうか。
③認知症を患った方が外出時に起こした事故による損害賠償について、市で損害賠償保険の対応ができませんか。

答

①「一人歩き中に道に迷う」や「外出中に道に迷う」などと表現しています。
②現在実施している高齢者ITケアネットワークのみでは不十分と考えておりますので、一人歩きをする可能性のある認知症高齢者を事前に登録し、支援するシステムなどを考えていきます。
③先進的に事業を開始した自治体もありますが、現時点では課題も多く、すぐに実施する考えはございません。

(健康福祉部長)



当市の林業政策について

森 益基

①第3期岐阜県森林づくり基本計画の中で、「木材生産林」「環境保全林」「観光景観林」「生活保全林」と4つの区分がありますが、観光景観林について山口地区を縦走するふると椈街道は、整備事業の対象となりますか。
②平成31年度から森林経営管理法が施行されますが、当市は平成30年度の事前取組として何を進められますか。

答

①対象となります。通称名としてふると椈街道という名称がついていますので、細かいルールはありますが、地元からの要望と森林所有者の承諾が得られれば、事業を進めることは可能です。
②平成30年度は、森林整備地域活動支援交付金を活用し、事前準備として、森林所有者への周知を図るパンフレットの作成、森林所有者や地番などの森林情報の収集、今後の森林管理に対する意識地調査アンケート案の作成を予定しています。

(農林部長)



リニア新幹線山口トンネルの汚染残土仮置き場の変更を!

木下 律子

汚染残土の仮置き場が本曾川のすぐ近くで乙姫大橋下の田に決まりました。そこは先日の台風で避難勧告の発令があった地域です。すぐ下流には東濃用水の取水口があります。
①岐阜県の情報では現地自治体として「認めたい」とのこと、そうですか。
②場所の変更を働きかけていただきたい。

答

①設置につきましては、様々な法手続きの中で許可が行われているものと理解しています。事業主体であるJR東海が、仮置き場として選定した場所で地域と地権者のご理解のもと、設置に伴い必要な法令の手続きを経て整備されるものと理解しております。
②降雨や地震などの緊急時には点検を行い、異常を確認した場合は安全の確保に必要な措置が講じられるものと考えておりますので、特に考えておりません。

(リニア都市政策部長)



犯罪被害者の支援について

佐藤 光司

8月27日、可見市で開催の犯罪被害者講演会に参加しました。犯罪により突然家族を奪われた犯罪被害者家族の存在でした。妹さんが突然殺され山中に遺棄された事件に巻き込まれ、捜査のために家に入れなかったり、マスコミへの報道対応等、家族として大変困った経験が話されました。仮の家の確保等身近な相談に乗ってほしかったと行政への不満に近い感想も話されました。犯罪被害者等へ支援できる条例制定を提案しますがどうですか。

答

県内の副市長会で支援の内容を統一しようとして相談しています。条例を制定するかしないかは各市町村の考えがありますが、当市としては、平成30年度中の条例制定に向けて取り組んでいきたいと考えます。

(副市長)



トピックスから

大府北部地震発生に伴う施設のブロック塀等撤去予算

- ①小学校…2校、4,515千円
- ②保育園…2園、1,584千円
- ③幼稚園…2園、2,460千円
- ④観光施設…1箇所、800千円
- ⑤体育施設…3箇所、8,138千円
- ⑥文化財…1箇所、1,055千円
- ⑦公園等…1箇所、1,313千円
- ⑧通学路等に面した民間施設への補助…30件、9,000千円

台風21号による被害状況

- ①市災害対策本部…9月4日、11…30設置
- ②避難勧告…9月4日、20…45発令
- ③人的被害…石足骨折1名、軽症1名
- ④住家被害…屋根破損等4件
- ⑤公共建物…屋根破損等11件
- ⑥倒木による被害…道路94件、公園等16件、林道126件、農道3件
- ⑦農業施設被害…トマトハウス248棟、家畜農家建屋等7戸
- ⑧概算被害額…191,249千円
- 土木被害…74,000千円
- 農業被害…60,165千円
- 林業被害…43,330千円
- その他被害…13,754千円

中学校生徒会サミット開催

各学校の生徒会代表からキラリと光る、アイデアあふれる提案がされました。

中津川市議会の議場を使用して「第6回中津川市中学校生徒会サミット」が開催されました。意見交流を通して、「『いきいきとしたふるさと中津川』づくりに参画する意識を高める。」等の趣旨をもって、市内12中学校の生徒会執行部の生徒がそれぞれの意見を発表しました。



＝市議会本会議場で＝



議場での発表時間は、3分という短い時間でしたが、様々な工夫をして自分たちのアイデアを発表してしていました。キラリと光るまなざしとアイデアに感動した時間でした。

議員連絡協議会	(2回)
全員協議会	(1回)
協議会改革特別委員会(協議会)	(1回)
協議会(含む)	(3回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(7回)
議会運営委員会	(7回)
予算決算委員会	(2回)
産業建設委員会	(3回)
文教民生委員会	(2回)
総務企画委員会	(5回)

議会開催状況 6月29日～10月4日

11月28日(水)	10時 本会議(初日)
12月7日(金)	10時 一般質問
12月10日(月)	10時 一般質問
12月12日(水)	10時 産業建設委員会
12月13日(木)	10時 総務企画委員会
12月14日(金)	10時 文教民生委員会
12月17日(月)	10時 予算決算委員会
12月21日(金)	10時 本会議(最終日)

平成30年12月定例会の日程



神明神社の流鎗馬

▼この夏は、梅雨明けも早く、各地で最高気温を毎日更新するといった暑さでした。市内の小中学校等教育・保育の現場においても、大変厳しい環境下にあったこととされます。

▼また、梅雨明け直前の西日本豪雨に始まり、北海道胆振東部地震や大型の勢力を保ったままの台風とそれらによる災害の恐ろしさを痛感させられる夏でもありました。自らの身は自ら守る自助、各地域がお互いを助け合う共助、行政が主体とならなすべき公助、それぞれが機能しながら、それぞれが互換し得る中津川市を構築するための課題はまだあります。

編集後記